

◎ 全国大会・日本リーグ

1 基本事項

- (1) 公式記録員手引 ～公式記録員の役割と心得～ を遵守すること。
- (2) **試合会場に記録集計本部を設置し、コピー・パソコン・プリンタ、及びW i f i 環境等を準備すること。また、Dropboxを有効に利用し、情報の共有化に努めること。**
- (3) 事前研修会に参加し、スコアリングマニュアルの確認を始め、様々な事例に対応できるよう努めること。
- (4) 記録員は先発完投形を原則としながらも、記録員の育成にも配慮すること。
- (5) 審判記録会議には必ず出席し、競技規則等の確認をすること。
- (6) 前日までの準備が大会成功の鍵となるため、機器の点検やPC集計のためのチーム名や選手名などデータ点検は必ず行うこと。
- (7) 試合当日は定められた時間に集合し、全体朝礼や記録員朝礼に参加すること。
- (8) スコアカードは関係各所に提供するため、コピーやスキャナーを利用するので濃い鉛筆（B、2B）を使用し、文字は楷書で丁寧に書くこと。
- (9) 試合前、担当審判員・放送員とのミーティングに参加し、連携を密にすること。
- (10) 試合後は、記録長等によるスコアカードの点検を受けるまでを1試合の業務とする。
- (11) 記録帳票（特に3号、4号）の提供には間違いやモレが無いよう事前に点検を行うこと。
- (12) 報道関係へはすべて記録本部から連絡・回答すること。（報道責任者と連携する）
なお、報道関係者の要望には可能な限り応えること。
- (13) 降雨等でグラウンド状態が悪く、整備が行われるときには、積極的に参加し、試合の進行に協力すること。

2 資格制度の徹底について

全国大会、地区大会、支部大会での記録は、決められた資格者が担当すること。

3 日本協会派遣記録員について

(1) 全国大会

①-1 記録委員会委員が派遣される場合（国体以外）

大会記録長 日本協会記録委員長、副委員長、委員

①-2 記録委員会委員が派遣される場合（国体）

大会記録長 日本協会記録委員長

大会副記録長 日本協会記録副委員長、委員

※種別毎

② 記録委員会委員の派遣されない場合

大会記録長 開催地記録委員長

(2) 日本リーグ/JDリーグ

① 記録委員会委員が派遣される場合

大会記録長 日本協会記録委員長、副委員長、委員

大会副記録長 開催地記録委員長

② 記録委員会委員以外のリーグ記録員が派遣される場合

大会記録長 開催地記録委員長

大会副記録長 開催地記録副委員長等

リーグ記録員 日本協会記録委員会が指名した記録員

4 国民体育大会について

- (1) 前年に開催されるリハーサル大会では、日本協会記録委員会と連携を保ちつつ、本大会と同様の業務運営を行うこと。
- (2) リハーサル大会終了後、すみやかに反省会を行い、本大会へ向けた準備を行うこと。

◎ 国際記録

WBS Cスコアリングルールに基づき、国際大会での記帳が可能な記録員の育成を図る。

◎ 認定会

1 第3種認定会

公式記録の初歩を伝えるだけではなく、スコアの魅力が参加者に伝わるように努めましょう。

2 第2種認定会

実務（スコアカードの記帳）を十分に積みことはもちろん、記帳や集計の楽しさを伝えることも必要です。

3 第1種認定会

事前研修を十分行い、受験者の理解度を知ることが重要です。